



ニュースレター あすか

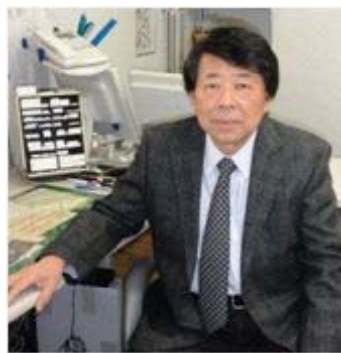
2013
1月号

通算 238 号

2013年1月1日

新年のごあいさつ

明けまして
おめでとうございます



医療法人あすか
理事長 高橋 勲

東日本大震災の大きな爪痕に今でも多くの人々が立ちすくみ、政治も経済も混乱のまま新しい年を迎えました。困難な時だからこそ希望を与えてくれる人たちの輝きに心が動きます。

iPS細胞研究の山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞受賞のニュースは、自信を失った日本人に未来への希望を与えてくれました。不器用で手術が下手で「ジャマナカ」と言われて整形外科医から基礎研究に転向したというエピソードはあまりに有名ですが、山中教授のインタビューや研究生活から伝わってくるものは、強い信念と忍耐力で自分の目標を達成したことです。

また、国際的な舞台で活躍する多くの日

本人がいます。野球選手やサッカー選手、いつのまにか世界をリードするようになったフィギュアスケートの選手たち、ライバルや自分との戦いに勇敢に挑戦する姿に心を打たれます。彼らが私たちに感動と希望を与えてくれるのは、彼らの類まれなる才能ではなく、彼らの目標の高さと目標を実現していく強いメンタルです。

人は目標を持つと輝きます。少々のことではへこたれない忍耐力ができてきます。仕事が楽しくなってきました。目標はその人を輝かせる原動力となります。

医療法人あすかの目標は患者、利用者様の「その人らしさ」を追求し、その人の人生を支え、輝かせることです。それを実現するために、あすかの介護方針5か条を作りました。社是「ともに生き ともに輝く」と経営理念『感謝 尊敬 謙虚 誇り』そしてクレドを基盤として今年も粘り強くひたむきに取り組んでいきたいと思えます。今年の行動の柱は、リハビリテーションと認知症ケアの充実です。具体的な取り組みはもう始まっています。今年も、職員ひとり一人が高い目標を持ってチャレンジする「希望の年」としたいです。



“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：新宅 佳那子)
住所：〒731-0103
広島市安佐南区
緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143
FAX:082-879-3190



当法人は、
ISO9001の認証施設です

【目次】

【ページ】

- 1. 新年のごあいさつ.....1
- 2. 介護事業所 所長の抱負.....2
- 3. 夢プロジェクト(つどい、みどりい).....3
- 4. 夢プロジェクト(野ばら).....4
- 5. 事業所だより(まやる)
- 6. 作品紹介(しゅりあ).....5
- 7. おもしろきかな我が人生
~三宅 行子さま~.....6
- 8. 若竹句会 11月作品抄
- 9. 継続は宝なり 第7回.....7
- 10. 玩具療法Q & A Vol.3.....8



新年のごあいさつ

あすか療養センター センター長 大北和彦

皆様、新年のご挨拶をさせていただきます。本年もあすか療養センターでは、認知症ケアとリハビリテーションをメインに職員一同一丸となって頑張っていこうと考えています。よろしくご高配のほど、お願い申し上げます。



平成25年 介護事業所 新年の抱負



支援事業所

所長 三原千春

ご本人、ご家族、地域の方々、「医療・介護・福祉に携わる専門職」と、積極的に話し合いチームの力を発揮します。



ショートいわや

所長 河原奈津

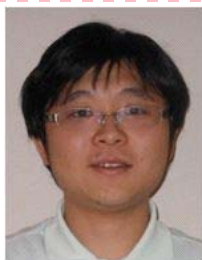
本年も、心が落ち着き安心できる空間として「ずっといたい」「また来たい」と思っていたるように職員一同心を込めてお迎えいたします。



まやるちよーく

所長 丸澤立子

～お一人おひとりの想いを大切に～笑顔がいっぱい・優しさがいっぱいを目標に1日1日を大切に利用者様と過ごします。



ショートいわや 2F

統括主任 宮本泰弘

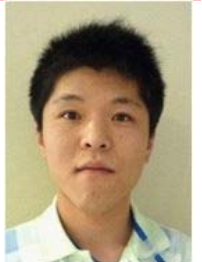
本年も、いわやご利用の皆様と、明るく楽しく笑顔で生活していきたいです。



しゅりあちよーく

所長 冨田千代

テーマは「和」人と人との出会いを大切にします。ひとつひとつ丁寧に美しく、動きたいです。



ショートいわや 3F

統括主任 栗原清志

利用者様お一人おひとりと向き合い、「また来たい」と言っていたように職員一同、協力し全力を尽くしていきます。



野ばら

所長 宗金珠美

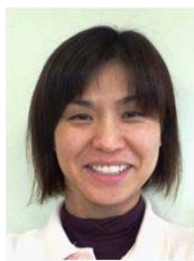
本年は研修等で学んだことをさらに深く勉強しスキルアップをして、日々の業務に活かしていきたいと思ひます。



ショートいわや 4F

統括主任 中村尚人

皆様とご縁に感謝し、豊かな毎日を過ごしていただけるよう職員一同邁進してまいります。



つどいの家

所長 小田聖子

本年も、笑顔があふれ、安心できる生活を送れるつどいの家を目指していきます。



野の花

所長 森岡繁幸

本年も野の花で楽しくのんびりと過ごし「ここがあるからよかった。」と言っていたように、皆様に寄り添い、ともに輝きたいと思ひます。



ショートみどりい

所長 森元智代

「ただいま」「おかえりなさい」の言葉から始まる、陽だまりのような家庭的なショートステイみどりいを目指します。

※すてつぷ、ポシブルはリハビリ施設のため掲載はしていません。ご了承ください。



夢をかなえるプロジェクト



★利用者さまの夢を叶えるお手伝いをいたします!★

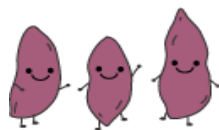
* じじいの家 *

『ギツマイモ!大豊作でした!』

秋は収穫の季節。11月14日の屋下がり、つどいのベランダで丹精込めて育てたまつま芋を収穫しました。葉が茂ったプランター4個を室内に並べて、いよいよ芋掘りの始まりです。どんな芋が出てくるのか、みんなワクワク、ドキドキです。プランターの土からのぞいているさつま芋にすぐ手が伸びる方。手際良く土の中を掘って探す方。隣のプランターを見て“どうかかな?”と気になったり、「わあーこりや大きいね!!」と思わず声が大きくなったり: 昨年は16個でしたが、今年は大小合わせて34個ものさつま芋が収穫できました。まさに大豊作です!自分たちが育てたまつま芋を目の前に「早く食べたーい!!」オーラが伝わってきました。みんなで一緒にスイートポテトを作りました。『つどいの家特製スイートポテト』の味にみんな大満足。これからもさまざま園芸活動に取り組んでいきます。



見てごらん!
こんなに大きいのが出てきたよ!!



(渡上 静栄)
いです。



こりやあ、えらい大きいねえ!



どこに隠れとるんかねえ!?



こんなに掘れたよ☆

* ショートステイみどりい *

『花を育てたい!春よこい!』

〜松本ヨシエ様の夢

松本ヨシエ様はお元気な頃、米や野菜を作っておられたそうで、入所されてからも私たちスタッフによく「今度、家で採れた野菜を持ってくるからねえ。」とおっしゃっていました。そこで、松本様に植物を育てることを通して昔を思い出していただければと思い、チューリップやムスカリ、すずらん咲き水仙の球根を屋上庭園の一角に植えていただくことを思いつきました。

しっかりとスコップを握り、土を掘ったり、球根を植えたり作業に取り組みました。スタッフにも「あんたもやってみんさい。」と声をかけてくださり、一緒に植えました。来年春にはいろいろな花が咲くのが待ち遠しいです。一緒に楽しみましょね。

(山田 美保)





夢をかなえるプロジェクト



★ 利用者さまの夢を叶えるお手伝いをいたします! ★

* 野ばら *

『みんなで紅葉狩りに出かけよう!!』 in 宮島サービスエリア 11月13日(火)・21日(水)



お天気の良い日、野ばらでは「いい天気じゃね〜みんなでもどっか行こうやあー」「ドライブ好きなんじやけど足が悪くなつてしもうたけえ：行きたいねえドライブ。」などの会話が繰り広げられます。季節は秋！紅葉がとても美しい時です。季節の移ろいや自然のすがすがしさを間近で体感していただこうと、宮島サービスエリアまで紅葉狩りに出掛けることにしました。

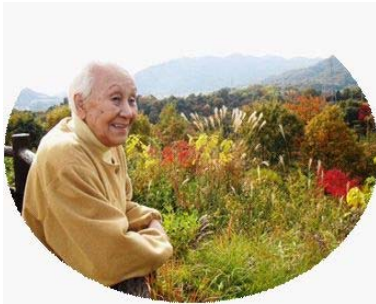
行きの車中から眺める山々は、赤・朱・黄・茶に美しく染まっており、車中はみなさんの明るい笑い声でいっぱいです。到着後は、鮮やかな紅葉に「うわあ〜きれいだ!!」「いい所に連れてきてもらった。」と笑顔が一層輝きを増しました☆

昼食は、『紅葉』と『海』と『鳥居』が

展望できるレストランにて【磯もみじ御膳】をいただきました。【磯もみじ御膳】は事前にレストランの方と打ち合わせをし、この日のために用意していただいたメニューには載っていないスペシャル御膳です。揚げたてジューシーなカキフライ、上品な味付けが施してあるアナゴなどなど：海の幸がてんこ盛り。「こんな御馳走を食べれるなんて!」「美味しい!」とみなさん口々にほおばっておられました。

その後、ゆったりと美味しい紅茶をいただきながら「楽しかったよ。」「ありがどう。」「また連れて来てね〜」と沢山の声をいただきました。秋の美しい風景を、澄み切った空気を、海の幸を、五感で秋を満喫できた外出でした。また、みんなで一緒に出掛けましょうね。

(深川 智美)



大成功！！ まやるちよーく祭

まやるちよーく祭は、11月15日(木)～17日(土)の3日間。1年間作りためた作品を会場いっぱいに表示しました。展示会場は、ゆったりとした音楽とコーヒーの良い香りが流れ、いい雰囲気です♪自分で作った作品を満足そうに何度も眺めたり、お互いの作品を鑑賞したり、「すごいね～上手じゃね～！」と人に褒められてちょっと照れたり・・・みなさん満足そうでした。日頃の十八番を披露するカラオケ大会ではみなさんの熱唱で大いに盛り上がりました。ご家族もたくさんいらしてくださいました。今年のまやるちよーく祭も大成功で幕を閉じました！みなさま、ありがとうございました！！

(阿川 愛美)



まやるへようこそ♪スタッフを紹介します☆



黄門様と一緒に熱唱！！



展示会場にて

素敵な作品をご紹介します！

作品紹介

みなさまが日々のプログラムで培われた成果を披露するイベント『しゅりあちよーく祭』より、ごく一部ではありますが、素敵な作品の数々をご鑑賞ください☆



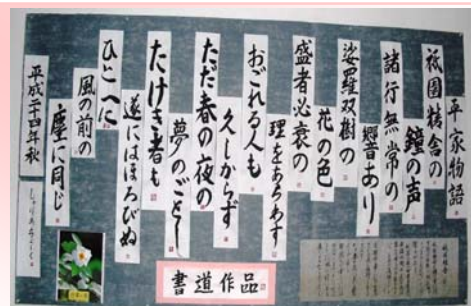
【よろず屋】技巧と笑いのセンスが盛り込まれた巣箱



【絵画】しゅりあちよーくに福招き♪



【手芸】10ヶ月間の製作期間を経て完成した共同作品



【書道】書道グループによる連作

まやるちよーく

みやけ ゆきこ

三宅 行子さま



おもしろきかな我が人生



昭和10年3月20日(77歳)

・お住まい：安佐北区口田

※三宅様は、ことばでご自分の思いを伝えることが難いため、娘様(門三野千春さま)にインタビューしました。



造幣局の桜の前で・・・

【気丈な母】

母は、何事にも敵しく、真面目な人でした。今みたいにホワーッと笑ったりはしなかったですよ(笑)。大竹に住んでいる時は、ずっと「牡蠣うち(牡蠣の殻を取る仕事)」の仕事をしていました。母の友人たちからも「気丈な人よね。」ということも言われていました。母は五人兄弟の長女だったので、しっかりしていたのかもしれません。よく私たちも怒られたりしていました(笑)。料理が好きで、インスタント食品や外食は好まず、何でも自分で作っていました。母の作る家庭料理はどれも美味しかったです。母は、卵焼きが大好きでよく作っていました。

【大好きな生まれ故郷 熊本】

母は、熊本の芦北郡津奈木(あしきたぐんつなぎ)で生まれ、学生時代まで熊本で過ごしました。その後、広島の大竹市に来て結婚して生活し、廿日市に移り暮らししました。熊本へは年に三回は帰っていました。帰る度に友だちと遊んでいて、家にはほとんどいませんでした(笑)。社交的で友人の多い母でした。今でも、熊本の話をするとても喜ぶのは、友人たちとの楽しい思い出がたくさんあるからではないでしょうか・・・。

【好きな花は「温泉」「花」】

母は、温泉が大好きでした。仕事を退職してからは、父と一緒に温泉巡りを

していました。よく行っていたのは、湯来温泉や、宮島の辺りの温泉です。十三年前に父が他界してからは、友人たちと温泉巡りをしていました。病気を一緒に暮らすようになってからは、倒れる直前まで母と私の夫と三人で広島温泉や銭湯を巡りました。広島の中で、行ったことのない温泉や銭湯はないと思いますよ(笑)。本当にお風呂が大好きな母です。今もやるちよーくさんでお風呂に入れていただいているので、母もきつと嬉しいと思います。花も好きで、季節に合った花をよく一緒に見に行きました。中でも、母は造幣局の桜が大好きでよく行っていました。病気をしてから、「造幣局にお花見に行きたい人々？」と聞くと、笑って手を挙げていました。

【大好きな氷川きよしさん】

好きになったきっかけは、二年前に通っていたデイサービスの職員さんから、「三宅さんは氷川きよしがお好きなんですか？」と言われたんです。私は、「そうだったの!？」と全然知らなかったんですが、どうやら母が見ていた週刊誌に氷川きよしさんが載っていて、一目惚れしたみたいなんです(笑)。今でも、氷川きよしテレビに映ると、「こーと嬉しそうに笑ってますね。」

【あすかの出会い】

今まで色々な施設を利用しましたが、なかなか母にあった施設に出会えませんでした。

した。主治医の先生から、高橋の施設や院長先生の評判を聞いて、デイサービスまやるちよーく、ショートステイみどりいを利用することになりました。職員の方々には本当に良くしてもらっています。ありがとうございます。

今、母はこのあすかで本当に楽しく過ごしていると思います。これからも、ずっとずっと笑顔の母でいてほしいです。



娘様ご夫婦と一緒に♪

娘様のお話を聞いて、私たち職員が知らなかった三宅様の一面を知ることができました。そして、本当にお母さん思いの娘様の気持ちに感動しました。三宅様の笑顔には私たち職員も元気を分けていただいております。すごいパワーがあります。これからもずっとその笑顔を見せていただけるよう、一緒に頑張っていきます！

阿川愛美

お詫びと訂正

先月号の『おもしろきかな我が人生』吉岡千恵子様編の『青年期～中年期』の章にて「北京」ではなく「新京」、「天人広場」ではなく「日本人広場」の誤りでした。お詫び申し上げます。

玩具療法Q&A

Vol.3



小林るつ子先生

玩具福祉学会理事長の小林るつ子先生による
『玩具療法Q&A』の第3回目です。



Q.「玩具は子どもが遊ぶもの」と考えて、遊んでいただけない利用者様にはどのような対応をしたらいいでしょうか？

A.利用者様が玩具で遊ばないのは、その方が遊び方を理解できないからということもあります。また、玩具を与えて急に遊びなさいと言うのは無理です。「これはとても楽しい玩具なのよ。」「こうして遊ぶと楽しいから一緒に参加しない??」とまずあなた自身が遊んでみてください。そばで見ているだけでも、参加になるのです。無理に遊ばせるのは駄目です、いろいろな物を見せながら遊んでみることです。この方には、またこのグループにはどんな玩具がいいか判断できる力をつけるといいです。まず、やってみる事です。

Q.手作りて楽しめる玩具は、どのようなものがありますか？

A.手作り玩具は、もちろんST(安全玩具)として承認されていません。安全面への配慮が必要と思います。布製の玩具は安全ですが作るのに時間がかかります。布の玩具製作ボランティアに頼んでも良いでしょう。手作り玩具をするときのお願いです。是非綺麗なものを製作して下さい。「わあーきれい」「おもしろそう」と目や心をひきつけるものもいいですね、(あすかの介護事業所には、小林先生からいただいた手作り玩具のボランティアグループ「もこもこ」制作の手作り玩具がたくさんあります。)



～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。

【編集者のつぶやき】

サンフレッチェ優勝おめでとうございます!! 悲願の初優勝ですネ。
新年一発目は各事業所に抱負を述べてもらいました。本年もあすか職員一同、みなさまとの出会いに感謝しながら一日を大切に過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしくお祈り致します。
今年のニューズレターもお楽しみに!

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

毘沙門台東1丁目24-16

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家
高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
通所リハビリテーション すてつぶ
ショートステイ みどりい

緑井2丁目12-25

リハビリデイ・ポシブルみどりい

緑井3丁目20-1-102

あすか病児保育室

082-830-5177

あすか居宅介護支援事業所

緑井3丁目20-1-103

医療法人あすかの医療・介護関連施設